

1. 年頭の挨拶（会長 今井 和男）

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、ご家族お揃いで、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。昨年は（里山ビオトープ二俣瀬）の制作・運営に対して、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。この一年間の取り組みを振り返りますと、発会后、会員の皆様のご意見を全体会議で十分討議し、「自然環境教育の場・二俣瀬のアピール・市民の憩いの場」を基本コンセプトとし、毎週土曜日に作業を行い、造成工事をはじめ植栽などの作業をいたしました。なかでも、各ゾーンの造成・植栽につきましては会員各位のご意見で、イメージ図を作成し製作いたしました。特に「たんぼゾーン」では田植えから稲刈り、もちつき大会等の一連の作業には小学生の児童の方にも参加してもらいました。これだけのビオトープが制作できたのも、ひとつの目的に向かって、会員の熱意とチームワークが最大限に発揮された成果といえます。本年は（里山ビオトープ二俣瀬）への観光路「遊歩道」等の建設に取り組みます。会員の皆様の更なるご協力をお願いいたします。終わりに（里山ビオトープ二俣瀬）の益々のアピールに努めるとともに、会員、ご家族のご繁栄とご健康を祈念いたしまして年頭のご挨拶といたします。

2.. 活動報告（事務局 塩谷 記）

12月19日（水） 福岡県甘木市の自治会連合会から13人が視察に來られました。ボランティアで作ったことと、その団結力に感心しておられました。また、苦労話などを質問されていました。330万円という事業費の少なさにもたまげておられました。

12月20日（木） 宇部市自治会連合会のみなさん19人が視察されました。「これ330万でつくったの」「すごいスケールですね」と驚きの声と「これくらいなら、うちでも作れる」と意欲的な声も上がっていました。

12月20日（木） 宇部市役所食堂でパートナーシップ事業の会議と懇親会が開催されました。会議には宇部環境倶楽部、宇部自然保護協会、沢波川の会、二俣瀬商興会、里山ビオトープ二俣瀬をつくる会の5団体が参加しました。今井会長の挨拶の後、各団体が経過報告を行い、手を取り合って今後の活動をすすめていくことを確認しました。

12月22日（土） 今日には平成13年の仕事納め、この一年の苦労に会長よりねぎらいの言葉の後に、おみきで乾杯。さあ、仕事納め、この日は湿地へ水ゴケの搬入、田のジメジメした所を乾燥させるため、ヨケジを掘り、竹のパイプを通しました。

12月29日（土） 風倒木を使用して5mの大水車を作りましたので、当初の負荷計算より、かなり大きい負荷がかかり、軸に負担がかかっていたので、今まで軸より数倍の強度の軸、ベアリングに取り替えました。年の瀬にもかかわらず、23人の会員が参加しました。

1月11日（金） 今までの数倍の強度の軸とベアリングに交換された水車が姿を現しました。今後の補修がきくように鉄骨で水車をつり下げられるようにしてあり、鉄骨の上にはイベントで横断幕が掲げられるよう2本のポールを立てています。また、ソバ等がひけるように軸の端に他動力チェーン用の歯車がつりつけてあります。

1月16日（水） 会員30名が出席して、今年初の総会が開催されました。19日から始まる遊歩道設置について、より効率的に進めるための話し合いと、案内板・木に取り付けるプレートの案の提案がありました。熱気ムンムンの充実した討論となり、終了予定の21時をはるかにオーバーする総会となりました。

1月19日（土） 会員33名が参加して遊歩道の設置が開始されました。二俣瀬市民センター裏の昭和園から昭和山山頂まで368mのコースです。午前9時会員がチェーンソー、草刈機、などを持ち、山に登りました。午後3時までには山頂までのコースがほぼ完成。これでビオトープにいたる全長2,1Kmの遊歩道が8割方完成しました。こまかいところは残っているものの、ゆっくり自然観察して歩けば2～3時間の手頃なコースです。

3. 今後の予定（事務局 塩谷 記）

2月 2日 ビオトープへ水ゴケの搬入、湿地の空白の所にウメモドキ等の植栽、水車の石垣の修復

9日 水ゴケ搬入、プレートの製作、パンフレットへの要望

16日 パンフレットの原案提示

23日 遊歩道案内板・順路案内板・ベンチ・木のプレート設置

3月 2日 ビオトープ・遊歩道大掃除、不法投棄物の撤去

4. ビオトープ関連（ビオトープで観察される動植物）

“二俣瀬ビオトープにおけるトンボ相について...第6回” （原 隆 記）

・12月24日（月）曇り 11時～13時 気温11℃ ここ、数日あいにくの天気、気温も低いのでトンボの姿は見られませんでした。しかし、林弘之さんに情報をいただいたとき、ビオトープ周辺の溜め池を観察できる事が出来ました。これで又楽しみが増えました。ありがとうございます。

・12月30日（日）晴れ 10時～13時 風強い もう、お正月も間じか、水車が気になって来てしまいました。来てみると補修作業して嗚呼よかったと...感じました。なにより、ビオトープに来て一番先に目に映るのは、この水車ですから。今日は、これで満足だと思っていたら大間違い...肝心のトンボの調査が脳裏を翳めました。しかし、天候も悪く風もかなりあって念願の

トンボの姿は、見られませんでした。しごく残念でした。しかし、今年は明日もう一日あると心に念じそう、思いながら後ろ髪引かれる思いで後にしました。

- ・12月31日(月)晴れ 12時~14時 風ほとんど無し 今日、大晦日です。こんな事していいのですかと、思いつつ来ました。でも、いいのです。これで...やるべき事はきちんとしてから来てますから。今日は、天気も良くて風も無いのですが、トンボの姿見られないので、方向転換してヤゴ探ししました。トンボは、翅があるので成虫がいたとしてもよそから飛来して来た事も考えられるので、幼虫(ヤゴ)の調査、確認が必須になります。確認されれば、定着の可能性は十分考えられます。須賀河内川の中でのヤゴ調査 ヤマサナエ...5頭採集(成虫では未確認種)、コヤマトンボ...5頭採集(成虫では未確認種)、ニシカワトンボ...2頭採集(成虫では未確認種)、コシボソヤンマ...4頭採集(成虫では確認種)、イトトンボ...1頭採集(小さすぎて同定不可能)
- ・1月4日(金)晴れ 15時~16時 もう、年も明けました。みなさん、明けましておめでとうございます。正月三が日は、おとなしくしてました。どうも、この最近天気が芳しくなくイライラしてます。とうとう待ちきれずにピオトープに出かけて見ました。今日の天気は、晴れてますが気温は、9(15時)でした。でも、思わずカップ着て、長靴はいて小道具持って出発です。思い切り川の中に入り網をあちこちと入れてみてヤゴを、すくってみました。川の水は手が凍えそうな位に冷たいけど、そっちのけです。ヤマサナエ...3頭採集、コヤマトンボ...6頭採集、ニシカワトンボ...1頭採集、コシボソヤンマ...5頭採集、コオニヤンマ...2頭採集、オニヤンマ...1頭採集、他に、透明なエビ多数・黒っぽいエビ多数・長さ30CM位のウナギ1頭・小魚多数・カゲロウの幼虫多数・他に小さい水棲昆虫多数確認
- ・1月5日(土)晴れ 13時~16時 今日、朝からいい天気で、そう思った時から気持ちは、ピオトープです。今日も川や周辺の池や湿地でのヤゴすくいが目的です。きょうは、女性1人ピオトープや周辺の観察に来てました。双眼鏡を、持っていたので鳥の関係かと思えます。川の調査では昨日と引き続き網を入れてみました。その後、林さんと新年の挨拶を交わして池などのポイントを聞き引き続き現地に行って調べて見ました。なんと、その池は杉林に囲まれた小さな池ですがとてもいい感じの池で周辺には適当な湿地も、点在してました。今後も、要チェックです。川の中 ヤマサナエ...1頭採集、コヤマトンボ...2頭採集、ニシカワトンボ...1頭採集、コシボソヤンマ...4頭採集、コオニヤンマ...2頭採集、オニヤンマ...1頭採集、他に、透明なエビ多数・黒っぽいエビ多数・小魚多数・カゲロウの幼虫多数・他に小さい水棲昆虫多数確認。林さんに教えてもらった池(とてもいい感じの池です)。オニヤンマ...5頭採集、タバサナエ...4頭採集、イトトンボ...1頭採集、カスミサンショウウオ...1頭、フナ?のような魚(体長5cm位)...1頭、この池は、今後の調査が楽しみです。
- ・1月6日(日)晴れ 10時~16時 今日、朝からいい天気でした。正午頃、少し天気崩れましたがなんとか終日持ちこたえました。この天気が、あともう少し早くから続いていたら良かったのですが...。今日は、天候の関係でスタートも早く10時から、調査を始めました。まずは、先日に林さんから教えてもらった池から網を入れてみました。ギンヤンマ?(クロスジギンヤンマ?)のヤゴ3頭を採集しました。それから、また須賀河内川に入って水棲昆虫含めヤゴをすくってみました。先日と変わらず同じ種を確認しました。先日に林さんから見せてもらったカジカカエルに良く似たカエルを2頭採集しました。あいにく、すぐ川に放してやったのではっきりとした事は言えませんがカジカであって欲しいです。それから、周辺の湿地や溜め池を探しながら、しばらく網を入れて観察をしました。カワトンボのヤゴが割にあちこちにいたので、水質環境は、比較的よいと考えます。ヤマサナエ...6頭採集(終令1)、コヤマトンボ...5頭採集(終令4)、ニシカワトンボ...3頭採集(終令4)、コシボソヤンマ...4頭採集(2令~3令)、コオニヤンマ...4頭採集(終令4)、オニヤンマ...8頭採集(終令2)、タバサナエ...5頭採集(終令4)、オオヤマトンボ...1頭採集、ヤンマのヤゴ...1頭採集。今日は、新しい池や湿地を確認出来たので大変満足してます。今後、ピオトープが周辺の環境に対しどう対応して変化して行くのかたのしみです。きっと、多様性のあるものに、なっていくだろうと願っています。
- ・1月13日(日)晴れ 12時~13時 今日、春の陽気でいい天気でした。ちょっと動けば汗ばむくらいでした。このまま、春になってくれたらいいのですが、そうは行きません。今日は、ちょっと風邪を引いているので川、池に入っただけのヤゴの調査は中止でトンボ探しをしてみました。今日のトンボ。オツネトンボ...1、ホソミオツネトンボ...3、ホソミイトトンボ...1、ようやく、久々トンボの姿見られました。なんとなく、ほっとしました。冬の寒い時でも風の無い暖かい日に草の中を良く見ると、越冬するトンボが見られます。枯れ草のような色にトンボの体に変化しているので気をつけて観察して下さい。

今回は「セキショウ」と名の付く野草を紹介します。但し、名は「セキショウ」であっても同じ仲間ではありません。(北村健治 記)

<第五回> * セキショウ (サトイモ科ショウブ属)

流れのある小川などに群生しショウブより小形の多年草。葉はつやがあり、葉を取って揉んで臭うとショウブの匂がします。根茎は薬用にする。花は葉に似た茎の先に付くがよく見ないと見落とす。3~5月に開花します。この「里山ピオトープ二俣瀬」では、草原ゾーンの小川の中の石組の周りに、近くの小川から移植しました。

* コウガイゼキショウ (イグサ科イグサ属)

水田や湿地に生える多年草。葉はセキショウの様に匂わない。花はこの類の特長で群れて咲きます。(集散花序) 開花は6~7月。「コウガイ」とは日本髪に使った細長い装飾具のことで、花茎や葉が平たい姿を例えたものといわれる。「里山ピオトープ二俣瀬」では須賀河内川の上流の休耕田から湿地の南西端辺りへ移植しました。

* ニワゼキショウ (アヤメ科ニワゼキショウ属)

帰化植物(アメリカ原産)で日当たりの良い道端や芝生のなか等どこにでも生える多年草。和名=庭石菖 葉は剣状で茎は扁平なのでこの形から名付けられた。花は淡紫色で1.5センチの小さなものであるが、1日花なので次々に咲き順次丸い実を付けます。開花期は5~6月。この「里山ピオトープ二俣瀬」では、土手など、いたるところに繁殖しています。

5. ピオトープ関連 (ピオトープ近辺の案内)

“水車” (車地 吉富 壮介 記)

かつて車地にも“水車”があった。場所はピオトープの下流100メートル、ササ藪の中に今も遺構がある。精米専用で近くの百姓が共同利用していた。水車の径およそ三メートル、一坪ほどの木造わら葺の小屋、通称“水車小屋”。ドロ塗り壁、窓は無い、入口に雨戸が一枚、閉めたらまっ暗になる。中は土間、素焼きの臼が二つ座っていた。一つの臼でコメ二斗が搗け、併せて一俵一度に搗けた。搗く時間は約半日(12時間)貧乏人は早目にやめ、グベン者は永々と搗いていた。番人はいないが、順番をキチンと守っていた。365日、24時間廻っていた。イ草で織った吠にコメを入れ、前を提灯もった子供に、親はクリ鉢もって後棒を担ぎ、田の畦道を通っていた。昭和12年、組合(現J A)に精米所ができ、幕を閉じた。創立は誰も知らない。

6. 会員の声

あけまして、おめでとうございます。今年も、よろしく申し上げます。昨年は、ピオトープにとっていろんなことがあった一年でした。6月に、二俣瀬小学校の生徒による田植えがあり、私の娘も参加し、はじめての体験に、喜んでいました。10月には、その時植えた稲を刈り、12月に、その餅米でもちつきです。市民センターの外では、昔ながらの方法でもちつきがおこなわれ、娘もはじめてみる「だいがら」に、驚いたと思います。今の時代の子供達は、もちは家の中で、機械でやるものだと、思っています。里山ピオトープは、そんな子供達にいろんな体験を、与えてくれる場所なのではないのでしょうか？私も、子供のころを思い出しました。これからもいろんなことを伝え、残していきたいと思えます。さて今年も、いよいよ遊歩道の設置作業が、始まります。私もなるべく参加していきますが、仕事の関係、行事の関係等で、参加が出来ない事があると思えますが、よろしく申し上げます。最後に、年末の寒い中、水車の修理お疲れさまでした。会員の皆さんのおかげで、立派な水車に生まれ変わったようですね。これからも、大切にしていきたいです。(益田 真一 記)

7. 来訪者の声 (東屋のノートより一部抜粋)

天堤池 ミコアイサ 1。ミサゴ、トビ、ハイタカ、ノスリ 空を見渡せばタカの仲間がよく飛んでいます。田んぼで モズがホオジロの鳴き真似をしていました。ルリビタキ Juvenile 2。(12月16日 K.S)

8. 二俣瀬小学校の二俣瀬小だよりより一部抜粋 (平成14年1月第12号)

「ピオトープ新聞」の回覧から

3年生が総合的な学習を進める中で「ピオトープ新聞」を作りました。自治会長さんをはじめ地域の皆様のお陰で「ピオトープ新聞」が回覧できました。色々な感想が寄せられ子ども共々喜んでいきます。感想など届くことは大変嬉しいことです。一部、紹介致します。

ピオトープはもう、完成したのですか。途中何回か見に行きましたが、次はどんなものができているのか楽しみでした。昭和園からの遊歩道が出来たら又楽しみがふえます。二俣瀬の宝です。

新聞を読んで大変感心しました。その気持ちをいつまでも忘れずにいて欲しいと思えます。(自然を大切に作る心、二俣瀬を思う心、優しい心)

田舎に住んでいるのですが、ピオトープに行き一段と田舎のよさがわかり、心がうきうきしました。水車をなぜ作ったのか？とても勉強になりました。

9. 会よりの連絡事項

もうすぐ竣工式、ここまでこれたのは会員の熱意や努力に支えられたことが最大の要因です。いまひとつ忘れてはならないことがあります。目立たないけれど奮闘された方々です。このピオトープや遊歩道の仕掛け人は環境共生課の部坂さんでした。この仕掛けがなかったら、今はありませんでした。又、県健康福祉センターの浅原・藤井さんも仕掛け人だけでなく仕事を通じ、全県、全国にこのピオトープをアピールしてくれています。県環境政策課の吉母さんは全国の資料を取り寄せ送付してくれ、会を応援してくれています。つくづく人に恵まれたものです。

10. 編集後記

年末に非常事態、水車止まるの知らせ。しかし、すみやかに 対処。多くの人々に見守られ いつもの姿で 新年を迎える事が出来ました。今年はこの水車で何か出来るのではないかとこの楽しみを加えて。ピオトープとしての形を整えつつ、ホームページも出来て全国へ発信(多くの アクセスを受けながら)又、環境パートナーシップ事業への参加で遊歩道の整備により 隣接する山との結びつき、植物や野鳥等とのふれあいも今まで以上に広がると思われます。今年度の締めくくりとしての竣工式を前にして 次々と広がる計画。いつも このつくる会のメンバーの力の結集のすごさを感じています。この 力強い集結力でピオトープ二俣瀬を より一層充実させるために 多くの意見を出しあい、もっともっと話し合っていかなければならないのではないかと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。(松本 フデ子 記)